

社会環境の変化に対応できる自立した生徒を育む学習指導の工夫  
—— 「安心・安全」な住生活の学習を通して ——

(1) 設定理由

住まいは、私たちの生活を危険から守り、心身の健康と安らぎを与えてくれる重要な場でなければならない。家庭内における死亡事故の件数は、交通事故をはるかに上回っている現状がある。また東日本大震災以来、住居に対する安心・安全への要求はますます高まっている。

小学校での学習をふまえ、ここでは日常的に起こりうる家庭内の事故を防ぐ方法を幼児体験や高齢者体験を通して考える。また地震の際の被害を少なくするための対策を過去の災害状況をVTRや実験等から考えさせることで家族が安心して住まうための室内環境の整え方に気づき、生徒自身の家庭生活での実践につなげたいと考える。

(2) 研究仮説

①高齢者体験や幼児体験などの体験活動を行うことで家庭内の事故防止についての意識が高まるだろう。

②家具の模型を活用したグループでの話し合い活動を行うことで自らの住まいについて、安全という視点から工夫・改善すべき点を考えることができ、家庭での実践につながるであろう。

(3) 研究内容

- ・住生活に関する実態調査
- ・主題を解決するための検証授業

(4) 結論

- ・体験活動を通して、住まいの安全について関心や意識が高まり、家庭でも実践しようという態度につながった。
- ・発表や課題発見カードの記入、話し合い活動を行うことでより学習を深めることができた。

## 1 研究主題

社会環境の変化に対応できる自立した生徒を育む学習指導の工夫  
—— 「安心・安全」な住生活の学習を通して ——

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会の面から

時代の変化に伴い、物質の豊さのみを追求する生活は見直され、持続可能な社会の構築を目指すためにも、社会変化に対応しながら生活を工夫し創造することのできる生徒を育成することのできる生徒を育成することが期待されている。

日本は、地震や津波、豪雨や土砂災害などの災害が発生しやすい国土であり、近年、各地でその被害が発生している。巨大な自然の力に対して災害を完全になくすことはできない。むしろある程度の被害が発生することを前提にして、その被害を最小限にするべきという「減災」という考えが浸透しつつある。減災のためには国や地方自治体が進める対策だけでなく、各家庭や学校、職場、あるいは個人で対策を考え、実践することが大切である。

住まいの安全性の視点から家族が安心して住まうための室内環境の整え方を知り、住まいのあり方に関心を持って、快適な住まい方の工夫について気づくことが大切である。

住まいの安全性の視点から家族が安心して住まうための室内環境の整え方を知り、安全な住まい方の工夫する必要性に気づかせることで家庭での実践につながると考える。

### (2) 地域の面から

御宿町は県の南東部、房総半島中央部東端に位置する人口7700名あまりの町である。年間を通じて温暖な気候に恵まれている。海岸線は約2kmに渡って真っ白な砂浜が広がり、毎年多くの観光客が訪れる。童謡「月の砂漠」発祥の地としても知られている。

日本三大海女地帯のひとつとしてあげられてる御宿の海女たちはその昔に遭難したスペイン人たちを助けた人情味あふれる心意気を忘れずに今に伝えている。

1703年12月に発生した元禄地震では、巨大な津波に襲われ甚大な被害を受けている。町では東日本大震災以降、地域防災の向上に向けて地域防災計画や地域防災マップ、津波ハザードマップの公開や防災講演会の開催など積極的な働きかけをしている。

これらの資料を活用することで学習を深めることができる。

### (3) 生徒の面から

平成29年4月に本校1年生36名を対象に調査を行った。(資料1, 2ページ)

本校の生徒たちは、小学生の時より「命を守る防災授業」や「学校・保護者・地域住民・関係諸機関の参加による合同避難訓練」等の活動を行っており防災意識の高い生徒も多く見られる。しかし、家庭内の事故や防災の備えについての関

心は低く、知識も乏しい。

小学校での学習ふまえここでは日常的の起こりうる家庭内の事故を防ぐ方法を幼児体験や高齢者体験を通して考えさせ、地震の際の被害を少なくするための対策を、過去の災害状況の映像や家具の模型を活用したグループでの話し合い活動から考えさせることで、生徒自身の家庭での実践につなげたいと考える。

#### (4) 夷隅郡市教育研究会家庭科部会共同研究の歩みから

夷隅郡市の家庭科部会では生活の自立に視点を当て、自らの生活の課題を解決する学習について研究を進めてきた。本年度は今までの実践を踏まえ、住生活の学習を進める中で自分や家族の安心や安全に目を向け自らが実践しようとする態度を養う学習について研究していきたい。

#### 《研究のあゆみ》

- |      |  |
|------|--|
| 第62次 | 生活をよりよくしようとする児童の育成<br>～快適な住まい方の学習を通して～<br>大多喜町立総元小学校               |
| 第63次 | 健康的な食生活を実践しようとする児童の育成<br>～総合的な学習の時間等との関連や人材の活用を通して～<br>いすみ市立東海小学校  |
| 第64次 | 社会環境の変化に対応できる自立した生徒を育む学習指導の在り方<br>～「生活の課題と実践の学習」を通して～<br>いすみ市立岬中学校 |
| 第65次 | お互いに学び合う家庭科学習<br>～複式学級での合同学習を通して～<br>勝浦市立豊浜小学校                     |
| 第66次 | ふるさとの食材を用いた家庭科学習のとりくみ<br>～家族の一員としての実践を通して～<br>いすみ市立古沢小学校           |

### 3 研究目標

住生活の学習を通して、家族が安心して住まうための室内環境の整え方に気づき、生徒自らが家庭生活で実践しようとする態度を育てるための指導法を明らかにする。

### 4 研究仮説

- (1) 高齢者体験や幼児体験などの体験活動を行うことで家庭内の事故防止についての意識が高まるだろう。
- (2) 家具の模型を活用した、グループでの話し合い活動を行うことで自らの住まいについて安全という視点から工夫・改善すべき点を考え、家庭での実践につながるであろう。

## 5 研究内容

実態調査 (生徒)

検証授業 仮説1に対して 「安全な住まいとは」  
仮説2に対して 「災害に備えて」

## 6 研究計画及び経過

2017年 4月 ・研究内容について検討, 研究計画の立案, 文献研究  
5月 ・アンケート調査実施 (生徒)  
6月 ・実践1  
7月 ・実践2  
8月 ・研究レポート作り, 検討会及び資料作り  
9月 ・研究のまとめと反省

## 7 指導計画

1学年 8時間扱い

- |   |               |     |       |
|---|---------------|-----|-------|
| 1 | 衣生活・住生活のキーワード | 1時間 |       |
| 2 | 住まいのさまざまな役割   | 1時間 |       |
| 3 | 室内の空気調節       | 1時間 |       |
| 4 | 住まいと音         | 1時間 |       |
| 5 | 安全な住まい        | 2時間 | 検証授業1 |
| 6 | 災害への備え        | 1時間 | 検証授業2 |
| 7 | 非常持ち出し品       | 1時間 |       |

生徒が学習を通して自分の成長や変化を実感しながら, 自立への意識づけができるよう本支部オリジナルの「衣生活・住生活自立度チェック表」を用いて3回チェックを行う。また授業の終わりに課題発見カード(い・すみカード)の記入を通して, 自分の生活をふりかえる。自分の生活で困っていること, 興味を持ったことなどを記録し, 課題をあげられるようにする。

## 8 授業実践

検証授業1 「安全な住まいとは」 (指導案は資料3ページ)

### (1) 目標

住まいの中で起こる家庭内の事故について関心を持ち, 自分なりに安全対策を考えることができる。

### (2) 授業記録

| 学習内容と活動                                  | 生徒の様子   |
|--|---|
| 1 家の中で起こる事故にはどのようなものがあるか考える。<br>①幼児に多いもの | (幼児に多いもの)<br>○なんでも飲み込んでしまう。<br>○扉のすきまに手とかはさんでしまう。 |

②高齢者に多いもの

2 ワークシートを用い自分の家の安全チェックをし、対策を考える。



(自分の家の安全チェックをし対策を考える)

3 幼児体験・高齢者体験をし、室内の安全について考える。

- ・安全に留意し2人1組で行う。
- ・気がついたことや感じたことをワークシートに記入する。

①幼児体験

- ・〈視覚〉視野の狭さ、目線の低さ

②高齢者体験

- ・〈聴覚〉高音をカットし難聴の状態
- ・〈視覚〉視力の衰えによる物の見えにくさ
- ・筋力の衰え、歩行の困難さ、つまづきやすさ
- ・触れる感覚の衰え



(視力の衰えによる見えにくさの体験)



(触れる感覚の衰えの体験)

○ストーブに触ってやけどをする。

○お風呂で溺れる。

(高齢者に多いもの)

○つまづいて転んでしまう。

○火の始末にはいつも気を付けているけどうちに消火器はあったかな。

○非常持ち出し袋はあるね。

○うちはあんまり鍵をかけない。

○うちはいつもかけるし確認をする。

○小学校の時に家の人と避難訓練したよね。

○家に帰って調べてみる。

①幼児体験

○小さい子の背の高さってこれくらいかな。

○もし歩けなくて這って動くと視野が狭くてずいぶん上の方が見えないね。

②高齢者体験

(聴覚)

○両方とも耳栓をするとふつうの話声がよく聞こえなくなるね。おじいちゃん、おばあちゃんはいつもこんな感じなの？

○じゃあ大きい声で話せば本当にいいのかな。

(視覚)

○あっ、グレーのサングラスにすると色や字がぼやっとして見えにくいよ。

(筋力)

○足が重くて階段のぼるの大変。歩くの疲れそう。

(触れる感覚)

○あれ、手袋したら本のページが簡単にめくれなくなっちゃった。おばあちゃんはいつもこんな感じなの？

○本当にうまくいかないね。

○高齢者には室内にもつかまるところがあるといい。

4 幼児体験・高齢者体験を通して感じたこと、住まいの安全チェックをもとに自宅でできる安全対策を考える。

○段差がない方がいいけど何か良い方法はないかな。

○つまづくといけないから床はかたづけしておかないと。

○畳とかに細かいものを置きっぱなししておいてはいけない。

5 まとめをする。

- ・考えた安全対策を発表する。
- ・課題カードに記入し提出する。

### (3) 考察

・導入の段階で家庭に幼児の弟妹がいる生徒や祖父母と同居している生徒が、日頃の生活を振り返り発表でき、家庭での場面を思い浮かべながら学習を進めることができた。

・疑似体験を行うことで高齢者や幼児の体の動きを理解することができ、家庭での生活の不自由さやそれに伴う危険について身を持って知ることができた。

・ワークシートの安全対策の欄には、具体的に改善点を書けた生徒も多く見られた。(資料4, 5ページ)

・グループでの話し合いの中から自分たちですぐ改善・工夫できることについては「家でやってみよう」という声が多く聞かれた。

#### 《授業後の感想》

組 番 氏名

高い者の体馬乗では、足の動きにくさと、周りの見えにくさがよく分かりました。幼児体馬乗では目線が低く、高い所にあるものが分かりにくく、危いことが分かりました。他にも段差やすべりやすさなどの関係も分かったので、これからの生活に生かしていきたいです。

組 番 氏名


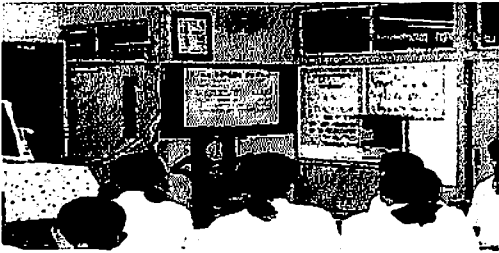
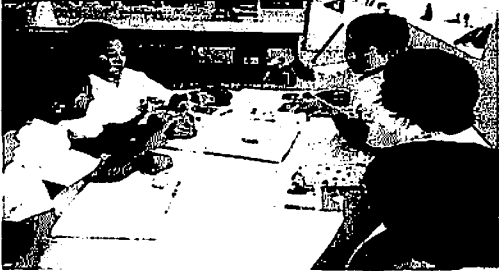

高齢者の方で感じた事は、歩きずらく色の認識がしづらかったことです。幼児の方で感じたことは、視野が一点に集中して、物が見えづらいことです。もし自分が大人になって、お年寄りになったら、家にエ夫がなかったら動きずらくて、怖いけどエ夫ができていたら不安がなく生活しやすいと感じました。どちらとも通すことが難しいと感じました。

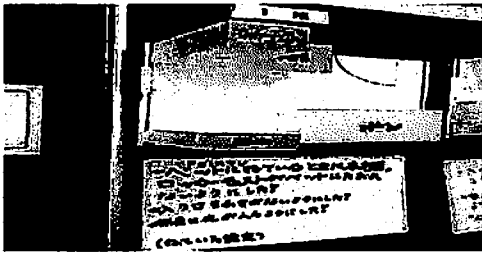
検証授業2 「災害に備えて」(指導案は資料6～9ページ)

(1) 目標

- ・自らの住まいについて、災害時の安全という視点から課題をみつけ、工夫すべき点を考えることができる。

(2) 授業記録

| 学習内容と活動  | 生徒の様子   |
|--|---|
| <p>1 DVD「地震に備えて」を見て考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神淡路大震災の際には、倒壊した家屋や転倒した家具による圧死・窒息死やけがが多かったことを知る。</li> </ul> <div data-bbox="310 779 765 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地震に備え、住まいをより安全にするにはどうしたらよいだろうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震は防ぐことはできないけど自分たちで防げることがあるのでは。</li> </ul> <p>2 家具の配置の仕方についての説明を聞く。</p> <p>◎部屋の条件</p> <p>部屋 6畳</p> <p>家具 机 ベッド 本棚 ロッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は自分の部屋で自分の命を守る(人的被害を少なくする)ためにグループで配置を考えることを確認する。</li> </ul> <p>3 班ごとに室内の家具の配置を話し合う</p> <div data-bbox="290 1485 769 1697" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>(グループで家具の配置の仕方についての話し合い)</p> <p>4 班ごとに話し合った家具の配置や理由を発表する。</p> | <p>○「うわっ」「やばいよ」</p> <p>○「つぶれちゃう」「大きな家具が倒れてる」</p> <p>○「扉がふさがってしまって部屋からでられない」</p> <div data-bbox="823 797 1318 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>(「地震に備えて」の視聴)</p> <div data-bbox="823 1115 1318 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>(ホワイトボードに考えをまとめていく)</p> <p>○ドアまでの道を確保しよう。窓はどうしようか。①避難経路の確保</p> <p>○ベッドの頭に本棚やロッカーが倒れてこないようにしなくちゃ。</p> <p>○机をこっちに置くと倒れるのを防げるね。②転倒を防ぐ</p> <div data-bbox="823 1709 1318 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>(実物投影機を使っでの発表の様子)</p> |



(グループの発表例)

5 まとめをする。

- ・ 班の発表を参考に自宅の安全のために自分ができること、家庭で生かしていけることを考えワークシートに記入する。
- ・ 記入した内容を発表する。
- ・ 課題発見カードに記入する

○寝ている時に家具が倒れてこないように置きました。また出入り口をふさがないように家具を置きました。部屋に光がさすようにしました。

○家の中にいるときも安全を確保することを学びました。少し工夫するだけで安全になるなと思いました。

○ベッドの近くに家具をおかない方がよいなと思いました。自分の家でできることは家具の固定なのでやってみようと思います。

○DVDで見たようにベッドに家具が倒れてきたら危ないと思った。私も家の中を考えなおしてみたら、災害の備えがいろいろしてあると思った。

《課題発見カードの記述よる生徒の気づきの例》

- ・ 今の自分も部屋は学習機の配置がよくないと思った。
- ・ 自分に身を守るために家具の転倒防止を心がけたいと思った。
- ・ 僕は自分の部屋の危ない点が発見できた。帰ってすぐ直したい。
- ・ 自分の部屋の家具の配置は考えたことがなかったけど、実際に考えてみて、安全にする工夫の仕方がわかったので実践してみようと思った。
- ・ 寝ているところに家具が倒れてこないように工夫した。自分の部屋では安全のことは全く考えていなくて便利で楽な配置だったので、これからは災害も視野に入れて考えたい。

(3) 考察

- ・ DVDの視聴を行ってから自分の部屋として考えてみるという設定は、生徒にとって自分のこととして捉えやすく、自分の命を守るために真剣に取り組む姿がみられ効果的であった。
- ・ まずは自分で考えてみる→グループで家具を動かしながら考えをまとめ発表をする。さらに他のグループの発表を聞き学びを深めることができた。
- ・ 課題発見カードには自分の住まいについての工夫・改善点を考え記入することができた。



# 課題解決レポート

これまでの学習を生かし、衣生活・住生活の課題を解決しよう

1年 組 番 氏名

## わたしの課題

自分の部屋をきれいに安全に

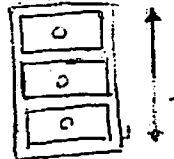
## 課題を決めた理由

部屋の地震対策ができていないし、物をきれいに収納やそうじできていないから。

## 解決の方法を考えよう

- ※ 手順 方法 使う道具や材料 などを具体的に書こう
- ※ 途中で変更・追加した場合はその内容も書こう

・重いものは下に (図例参照)

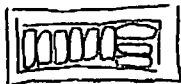


・服を詰める時はキチンと隙間なく詰める

・寝る前にベッドの脇にスリッパやはくつ下などを置く物をおく

・出入口を確保

・家具転倒防止パッド



・季節別にする

・たなにかけてあるバッグを片つけた → 地震の時などたながたおれた時、バッグの中みが出てきてしまいにけおくる可能性があるため。

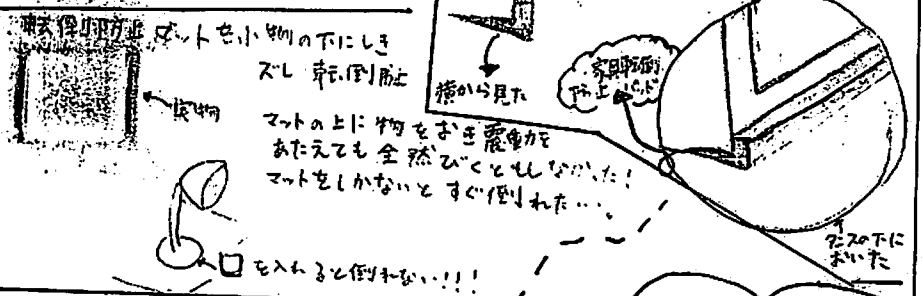
・床に物をおかない → にけおくれる。  
↓  
見た目的にも

## 実践の記録

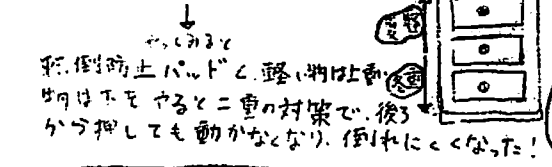
- ※ 使用したものの 実践の記録 場所 などを具体的に書こう
- ※ 写真や絵、表などを使ってわかりやすくまとめよう
- ・実践した場所は、自分の部屋

## 地震対策

・家具転倒防止パッドを使って物が前に倒れてこないようにした。



・重い物は下 軽い物は上



・ベッドから出入口まで床に物をおかない  
寝る時に部屋から出る実験をした時物につまることがなくスムーズに部屋から出れた!

・ベッドのそばにけるのに必要な物袋をかける  
ベッドのそばに道具袋くらい大きな物の物を用意し入れる  
くつ下 → かさばるものが割れているところをける時につまみ  
手袋 → かさばるものをとる時につまみ  
ロープ → 高いところから降りた時につまみ

## 実践した感想

部屋の地震対策をしたことがなかったためとても新しく、タンスや家具にパッドをかなりもいれました。自分の部屋が地震に強い部屋になってよかったです。

## 家族からのコメント

いつ地震が起きても大丈夫なように、今回の地震対策の勉強をしっかり覚えて自分や家族など人を守るよう役立てられるようにして下さい。

# 課題解決レポート

今までの学習を生かし、衣生活・住生活の課題を解決しよう

1年 組 番 氏名

わたしの課題

## 地震対策(家具の固定)

課題を決めた理由

この前の地震で家具がゆれたから。

解決の方法を考えよう

- ※ 手順 方法 使う道具や材料などを具体的に書こう
- ※ 途中で変更・追加した場合はその内容も書こう

使う道具材料

○ 支え棒  
○ 転倒防止シート(テレビ用)



手順

○ 支え棒を使い、まず食器だなを固定し、そのあと

に、テレビの転倒防止シートを使い、テレビを固定する。固定したあとに、ちゃんとゆらしてみる。

方法

支え棒と転倒防止シートを使い、家具を固定する。固定したあとに手でゆらゆらしてみようかを見てみる。その結果を前と比べてまとめる。

実践の記録

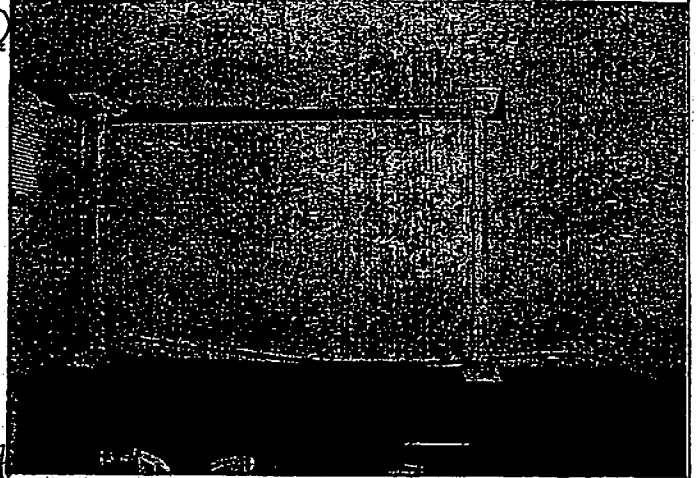
- ※ 使用したもの 実践の記録 場所などを具体的に書こう
- ※ 写真や絵、表などを使ってわかりやすくまとめよう

使用したもの

○ 支え棒  
○ 転倒防止シート(テレビ用)

場所

○ ダイニング  
○ ルーム



実践の記録

支え棒を使い、食器だなを固定した。ゆらしてみたが、ぜんぜんゆれなくなった。支え棒をつかう前とはぜんぜん違った。あと転倒防止シートを使ってテレビを固定した。またゆらしたら、ゆれをしっかりと吸収していて、またまたぜんぜん違った。

実践した感想

食器だなを支え棒で固定をしたら、ぜんぜんうごかなくなておくれた。テレビもしっかりゆれを吸収していた。

家族からのコメント

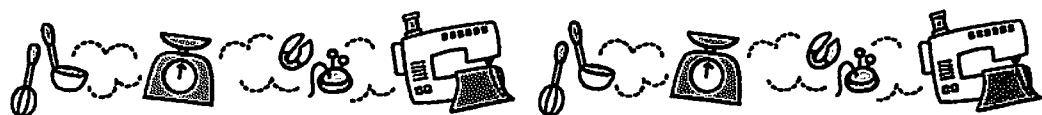
地震対策として食器棚の転倒防止とテレビは...と、思うていましたが、なかなか行動にうつせなっていました。この機会に、やっと実現です。本当によかったです。

《成果として》

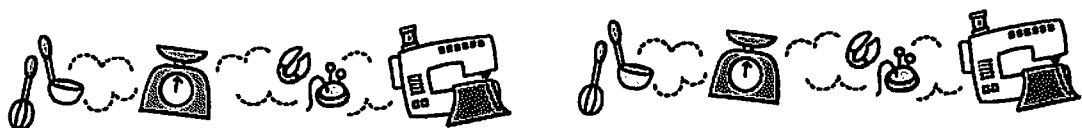
- 生徒たちは幼児体験、高齢者体験を行うことにより、あらためて自分の家庭での生活に目を向け、家庭内の事故防止について意識を高めることができた。
- 「防災」というと生徒たちはこれまで避難活動に意識がいきがちだったが、「住まいの安全」の授業を行うことで、命を守るために自らの住まいの安全への関心が高まり、家庭で実践しようとする態度が育った。
- グループで話し合い活動を通してより安全な住まい方について考えることができた。他のグループの意見を聞くことでさらに学びを深めることができた。
- ワークシートの活用や課題発見カードの記入の継続により効果的に学習を進めることができた。
- 「生活の課題と実践」で家具の転倒防止や非常持ち出し品をそろえることなどに取り組んだ生徒が多く見られた。
- 家庭で実践することにより、保護者の協力を得ることができた。また保護者の防災意識の向上にもつながった。

《課題として》

- 今回の学習によって住まいの安全について関心や意識は高まったが、今後これを継続的に考えさせるにはどうしたらよいか検討していきたい。



# 資 料

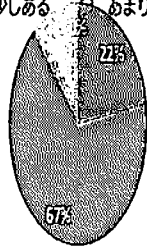




住生活実態調査 御宿中学校1年生36名 (2017年4月実施)

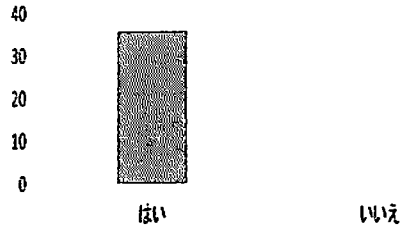
住まいの学習に興味はありますか

ア ある イ 少しある ウ あまりない エ 全くない

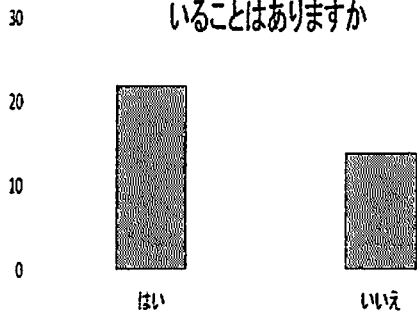


○関心があると答えた生徒22%、少しあると答えた生徒は67%であった。

家庭内でおこる事故にはどんなものがあるか知っていますか

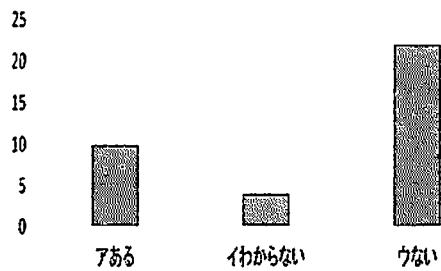


家庭内で事故が起こらないために工夫していることはありますか

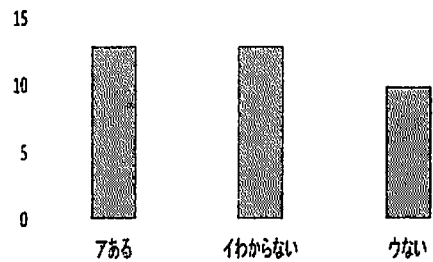


○家庭内事故について知っているものは火災(やけど)、転倒、誤飲、ドアに手を挟む、風呂で溺れるであった。

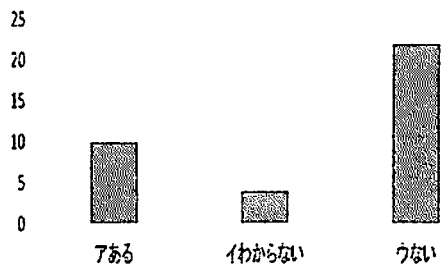
消火器の設置



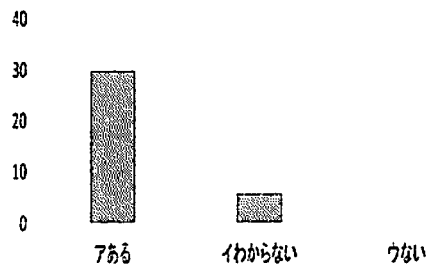
火災報知器の設置



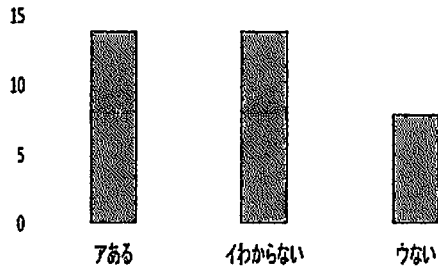
消火器の設置



懐中電灯の設置

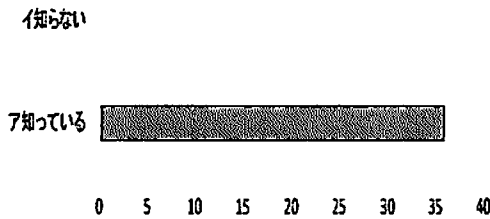


### 非常持ち出し袋の設置

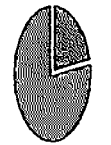


○「住まいの安全」の準備に関する質問では懐中電灯についてはあると答えた生徒が多かった。しかしそれ以外の設置については、日頃より気にとめておらず、知らなかったりわからなかった生徒が多く見られた。室内の安全対策で家庭で調べたり家族と話して確認することができた。また非常持ち出し袋については学習後に用意した生徒も見られた。

### 大津波警報が発令された場合の避難場所



### 災害にあった場合の連絡方法の確認を家族としてありますか



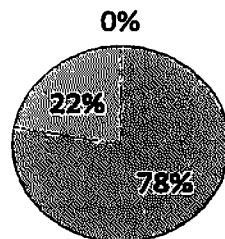
●ある ●ない

○学区の御宿小学校では、防災教育・安全教育に力を入れている。そのため地震や津波の警報が起きた時の避難場所や避難の仕方はほぼ全員がわかっている。しかし学校以外で災害にあった場合の家族との連絡方法を確認できている生徒は少なかった。「災害に備えて」の学習時や家庭への呼びかけをしていきたい。

(学習後)

### 住生活で学んだことをこれからの家庭生活に活かそうと思いますか

■ア思う ■イわからない ●ウ思わない



安全な住まい (1) 安全な住まい

(1) 本時の目標

- ・ 住まいの中で起こる家庭内事故について関心をもっている。 (関心・意欲・態度)
- ・ 安全対策を自分なりに工夫して、まとめることができる。 (工夫・創造)

(2) 本時の展開

| 過程     | 時配 | 生徒の活動   | 教師の指導と支援   | 資料   |
|--------|----|---|--|--|
| 課題をつかむ | 5  | 1 住まいの中で危ないと感じたことを考え、発表する。<br>2 本時の課題を知る。<br>住まいの中で起こる事故には、どのようなものがあるか知り、その対策を考えよう。 | ・自分の体験だけでなく、家族が体験したことなども挙げるように促す。  |  |
| 追求する   | 10 | 3 家庭内で起こる事故をまとめる。   | ・教科書の資料から実際に家庭内で死亡事故が発生していることを知らせ、安全対策が必要なことに気付かせる。  | 教科書  |
|        | 15 | 4 自分の住まいの安全チェックをする。   | ・室内事故だけでなく、火災や地震、防犯対策についてもチェックし、その必要性を考えさせる。<br>・安全のための対策を考えさせ、ちょっとした工夫で対策ができることがあるものに気付かせる。   | ワークシート   |
| 深める    | 45 | 5 なぜ、幼児や高齢者が事故に巻き込まれやすいか幼児体験・高齢者体験を通して知る。   | ・特に幼児や高齢者の家庭内の事故が多いことを知らせ、その身体や行動の特徴から、住まいの安全対策を考えるように助言する。<br>・安全に注意して2人1組で体験をするように話す。        | ワークシート<br>幼児体験用ゴーグル<br>セロファン<br>ウェイト<br>ビニール手袋<br>耳栓 |
| まとめる   | 20 | 6 幼児体験・高齢者体験を通して感じたこと、住まいの安全チェックをもとに自宅でできる安全対策を考える。                                 | ・できるだけ具体的な対策を考えるように促す。<br>・具体物としての対策だけでなく、共に住まう人の配慮が必要なことも知らせる。<br>・バリアフリー、ユニバーサルデザインについても触れる。 | ワークシート   |
|        | 5  | 7 本時のまとめをする。課題発見カードを記入する。<br>家庭内事故が起こらないように安全対策を考えることができたか。                         | ・自分の住まいの様子を思い起こさせながら記入させる。   | 課題発見カード  |



# 住まいの安全について考えよう

1年 組 番 氏名

1. 家の中で起こる事故には、どのようなものがあるだろうか。


|   |                                |
|---|--------------------------------|
| 《幼児に多いもの》<br>・小さいものなどをつまらせる。<br>・洗たく機に入る。 | 《高齢者に多いもの》<br>・ろうぶ。<br>・火の消し忘れ |
|---|--------------------------------|

2. 自分の家の安全チェックをし、対策を考えよう。

| 項 目    |                             | チェック<br>(○ △ ×) | 対 策<br>(注意していること・気をつけていること)  |
|--------|-----------------------------|-----------------|------------------------------|
| 室内事故対策 | 浴室・廊下はすべりにくくできているか。         | ×               | 大きい物や小さい物を置かない。              |
|        | 階段にはすべり止めや手すりをつけているか。       | △               | すべり止めがつかっていない。               |
|        | 刃物や薬品などは安全なところにしまっているか。     | ○               | しっかりしまえていると思ってる。             |
| 火災対策   | 台所のガスコンロの火に注意しているか。         | ○               | 出かける時は火を必ず消す。                |
|        | タバコの火のしまつに注意しているか。          | ×               |                              |
|        | 家の周囲に燃えやすいものを置かないようにしているか。  | ○               | 確認しながら行っている。                 |
|        | 消火器の用意があるか。                 | ×               | 消火器の用意をしておかない。               |
| 地震対策   | 家の中の家具が倒れないようにしているか。        | ○               | テレビ、棚を固定している。                |
|        | 非難用具(ロープ)や非常持ち出し袋を用意しているか。  | △               | 完全ではないが、準備はできている。            |
|        | 家族で避難方法や避難場所を話し合っているか。      | ○               | しっかり話し合っている。                 |
| 防犯対策   | 道路に面した窓は外から進入できないようになっているか。 | ○               | 家族が居たら開けるが、居ないからかぎを閉める。      |
|        | 外出するときは戸締まりに気をつけているか。       | ○               | 家に誰もいなくなる時は、必ずかぎをしめるようにしている。 |



3. 幼児体験・高齢者体験をし、室内の安全について考えよう。

| 体験の内容   |                      | 感じたこと   | 住まいの安全対策を考える  |
|---|----------------------|---|---|
| 幼児体験  | ※視野の狭さ目線の低さ          | ゴーグルをつけてしゃがみ、周囲を見る。<br>見づらかった。視界が狭かった。  | 置いてある物でなるべく、視界を狭まかせないようにする。   |
| 高齢者体験   | ※高音をカットし、雑音の状態       | 聴覚<br>耳栓をして、話を聞く。<br>普通の時よりも音が小さく聞こえた。  | 補聴器の調整。   |
|   | ※視力の衰えによる物の見にくさ      | 視覚<br>黄色のセロファン越しに物を見る。<br>色が何色かわからなくなる時があった。<br>見づらかった。                               | 色がわからなくなる時があった。見づらかった。手すりを付けたらいいと思います。(つえをつかう)  |
|   | ※筋力の衰え、歩行の困難さ、つまづき易さ | 手首にウエイトをつけて荷物を持つ。<br>足首にウエイトをつけ、段差を上る。<br>かなり重なっていた。<br>一歩一歩が重く、歩きづらかった。              | 買い物の手伝いをする。(重くならないように)<br>段差に手すりをつけたり、荷物を持ってあげる。                                      |
|   | ※触れる感覚、温度感覚の衰え       | ゴム手袋をはめて本のページをめくる。お湯に触れる。<br>1枚<br>2枚<br>ページが少しめくりにづらかった。<br>指が少し動かすらくて、ページがめくりにくかった。 | 握力がなくても、できれば、ようなもの以外は手伝ってあげる。   |
|   |                      |   |  |
| 4. 自宅の安全対策を考えよう。<br>幼児の方は物を置きすぎて視界を狭めないようにする。<br>高齢者の方は荷物を持つのを手伝う。手すりを付けたらいい。 |                      |   |   |

# 住まいの安全について考えよう



3. 幼児体験・高齢者体験をし、室内の安全について考えよう。

1年 組 番 氏 名 \_\_\_\_\_  
 1. 家の中で起こる事故には、どのようなものがあるだろうか。

|  |   |
|--|---|
| 《幼児に多いもの》  | 《高齢者に多いもの》  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すいはん器でやけど。</li> <li>・ おもちの誤飲</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 階段、段差で転んでしまうこと。</li> <li>・ お風呂で滑って転んでしまうこと。</li> </ul> |

2. 自分の家の安全チェックをし、対策を考えよう。

| 項目     | チェック (○ △ ×)                | 対策 (注意していること・気をつけていること)               |
|--------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 室内事故対策 | 浴室・廊下はすべりにくくてきているか。         | ○ 浴室の床は、ガラガラしています。すべりにくくなっています。       |
|        | 階段にはすべり止めや手すりをつけているか。       | △                                     |
|        | 刃物や薬品などは安全なところにしまっているか。     | ○ 全て、高い所にしまっており、小さい子には、取れないようになっています。 |
| 火災対策   | 台所のガスコンロの火に注意しているか。         | ○ 火には、気を付けています。                       |
|        | タバコの火のしまつに注意しているか。          | △                                     |
|        | 家の周囲に燃えやすいものを置かないようにしているか。  | ○ 植物は、たくさんあるけれど、燃えやすい紙などは、置いてません。     |
|        | 消火器の用意があるか。                 | ○ ある。使い方を知っている。                       |
| 地震対策   | 家の中の家具が倒れないようにしているか。        | △ 確認                                  |
|        | 非難用具(ロープ)や非常持ち出し袋を用意しているか。  | ○ 特に、かいちゅう電灯は、発電で、いつでも使えるようになっています。   |
|        | 家族で避難方法や避難場所を話し合っているか。      | ○ 避難訓練の前などは、よく確認しています。                |
| 防犯対策   | 道路に面した窓は外から進入できないようになっているか。 | ○ 道路に面した窓は、上の部分があるからです。               |
|        | 外出するときは戸締まりに気をつけているか。       | ○ かぎを1度閉めても、本当に閉まっているか確認している。         |

| 体験の内容                         | 感じたこと  | 住まいの安全対策を考える  |
|-------------------------------|--|---|
| 幼児体験<br>※視野の狭さ目線の低さ           | ゴーグルをつけてしゃがみ、周囲を見る。<br>・ 視界が、まくなり、上が全然見えなし。                            | ・ 机の角などをカバーする。  |
| ※高音をカットし、雑音の状態                | 聴覚<br>耳栓をして、話を聞く。<br>・ 相手の口の動きと、わずかな、声、何を言っているのかを聞き取り、話をすることは、難しいと思った。 | ・ 高齢者の人には、やさしく、大きな声で話してあげようと思う。                               |
| ※視力の衰えによる物の見にくさ               | 視覚<br>黄色のセロファン越しに物を見る。<br>・ 黄色が見えにくい。<br>・ 転びそうで怖い                     | ・ 下に物を置かないようにする。  |
| 高齢者体験<br>※筋力の衰え、歩行の困難さ、つまづき易さ | 手首にウェイトをつけて荷物を持つ。<br>・ 荷物が少し重く感じた。                                     | ・ 重い荷物を持っていたら、持てあげようと思う。                                      |
|                               | 足首にウェイトをつけ、段差を上げる。   | ・ とても重くて、段差を一段上がるのも大変だった。                                     |
| ※触れる感覚、温度感覚の衰え                | 1 枚<br>ゴム手袋をはめて本のページをめくる。<br>・ かんばれはめくれるが、とても難しい。                      | ・ 本のページなどもめくるだけでも、大変なことが分かったので、もしも、難しそうにしていたりしたら、手伝ってあげようと思う。 |
|                               | 2 枚<br>お湯に触れる。   | ・ とてもかんばつても、なかなかめくれなかった。                                      |

4. 自宅の安全対策を考えよう。・ 幼児のそばには、小さい物を置かない。  
 ・ 黄色い物が見えにくかったため、黄色い物は、あまり下に置かないようにしようと思う。

・ 床などにあまり、物を置かないようにしようと思う。  
 ・ 段差があつた時は、上がるのを、支えてあげたり、手伝う。

## 技術・家庭科学習指導案

1 題材名 安全な住まい ～災害への備え～ (C (2))

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、中学校指導要領「C衣生活・住生活と自立」の(2)イ「家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること」に基づいて設定した。

日本は、地震や津波、豪雨や土砂災害などの災害が発生しやすい国土であり、各地でその被害が多く発生している。巨大な自然の力に対して災害を完全になくすことはできない。むしろある程度の被害が発生することを前提にして、その被害を最小限にするための対策をするべきであるという「減災」という考えが浸透しつつある。

国や地方自治体が進める対策だけでなく、各家庭や地域学校、職場、個人等で対策を考え、実行することが大切である。

ここでは日常的に起こりうる家庭内の事故や自然災害から身を守るために体験や実験を通して考えさせたい。

(2) 系統

| 小学校   | 中学校  | 高等学校  |
|---|--|---|
| <p>C 快適な衣服と住まい<br/>(2)ア 住まい方に関心を持って、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。<br/>イ 季節の変化に合わせた生活の大切さがわかり、快適な住まい方を工夫できること。</p> | <p>C 衣生活・住生活と自立<br/>(2)イ 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。</p> | <p>家庭基礎<br/>2のウ 住居と住環境<br/>2のオ ライフスタイルと環境<br/>家庭総合<br/>2(4)ウ 住生活の科学と文化<br/>エ 持続可能な社会を目指したライフスタイルの確立</p> |

(3) 生徒の実態

「住まい」についてのアンケートでは、小学校で学習した部屋の整理・整とんや季節の変化への対応などは工夫・実践がみられる。本題材で扱う家庭内の事故や防災の備えなどについては関心が乏しい。生徒は前時までにはシルバー体験やチャイルド体験を通して、家庭内の事故については意欲的に学習し、安全への意識が高まりつつある。

本時では地震に対する住まいの安全性の視点から、防災マップや家具の模型を活用した学習を行いたい。家族が安心して住もうための室内環境の整え方に気づき、生徒自身が家庭生活の中で実践していこうとする態度を養いたい。

3 題材の目標

【生活や技術への関心・意欲・態度】

- ・安全で快適な室内環境の整え方と住まいについて関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくすることができる。

【生活を工夫し工夫創造する能力】

- ・安全で快適なしつない環境の整え方と住まいについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫することができる。

【生活や技術についての知識・理解】

- ・住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身につけることができる。

#### 4 指導と評価の計画

| 時間               | 学習内容                                       | 評価規準・評価方法 (◇)  | 関心 | 創造 | 技能 | 知識 |
|------------------|--|--|----|----|----|----|
| 2                | ○家庭内の事故の種類とその原因がわかる。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適な室内環境に関心を持って、学習に取り組もうとしている。</li> <li>◇行動観察 い・すみカード</li> <li>安全で快適な住まいに関する基礎的</li> <li>基本的な知識を身につけている。</li> <li>◇い・すみカード</li> </ul> | ○  |    |    | ○  |
| 2<br>本時<br>(3/4) | ○安全な住まい方を考えたり、非常時の備えとして必要なものをあげたりすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境について課題を見付け、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫しようとしている。</li> <li>◇行動観察 いすみカード</li> </ul>  | ○  | ○  |    |    |

#### 5 本時の指導

##### (1) 本時の目標

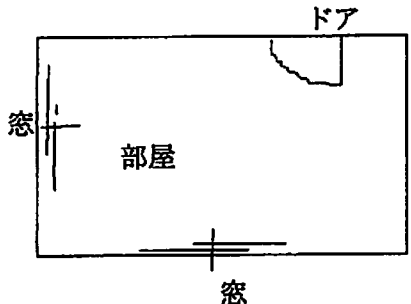
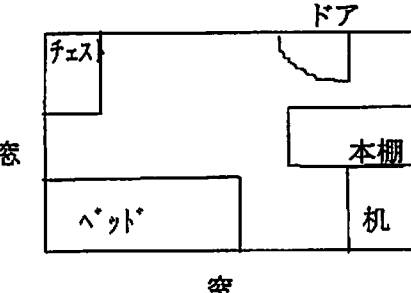
- 地震の際に起こりうる家庭内の事故に備え、住まいを安全に整える必要性を感じることができる。  
(生活や技術についての関心・意欲・態度)
- 自らの住まいについて、災害時の安全という視点から課題をみつけ、安全な住まい方について考え、工夫・改善すべき点を考えることができる。  
(生活を工夫し・創造する能力)

##### (2) 本時の評価規準

| お<br>お<br>む<br>ね<br>満<br>足 | 関心・意欲・態度                 | 創造する能力                            | 生活の技能 | 知識・理解 |
|----------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-------|-------|
|                            | 地震に備えた安全な住まい方を考えようとしている。 | 自分の住まいの安全な住まい方について工夫・改善をしようとしている。 |       |       |

##### (3) 本時の展開

| 学習過程   | 時配  | 学習内容と活動                        | 指導上の留意点<br>評価◎ (方法)   | 指導資料                   |
|--------|-----|--------------------------------|---|------------------------|
| 課題を見出す | 10分 | 1 DVD「地震に備えて」を見る。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○阪神・淡路大震災の際には、倒壊した家屋や転倒した家具による圧死・窒息死やけがが多かったことを知らせ、各家庭での対策が必要なことに気づかせる。</li> <li>◎住まいを安全に整える必要性を感じることができたか (観察)</li> </ul> | 転倒防止グッズ<br>DVD「地震に備えて」 |
|        |     | 地震に備え、住まいをより安全にするにはどうしたらよいだろうか |   |                        |

|        |     |   |  |                                    |
|--------|-----|---|--|------------------------------------|
| 調べる    | 15分 | <p>2 班ごとに室内の家具の配置を模型を使って話し合う。</p>  <p>ドア<br/>窓<br/>部屋<br/>窓</p> <p>ベッド, 学習机, 本棚, ロッカーチェストの家具を配置する。</p>   | <p>○模型の部屋の説明をする。</p> <p>○人的被害をできるだけ小さくすることを中心に配置を考えるように助言する。</p> <p>○話し合いから気づいたことを発表カードに記入させる。</p>   | <p>ブラックボード<br/>家具の模型<br/>発表カード</p> |
| 深める    | 15分 | <p>3 班ごとに考えたことをまとめ、発表する。</p> <p>発表例</p>  <p>チェスト<br/>ドア<br/>窓<br/>本棚<br/>机<br/>ベッド<br/>窓</p> <p>発表カードの例</p> <p>家具が転倒しても体にあたらないように配置した。</p> <p>避難するために通る道を確認できるように家具の場所を考えた。</p> | <p>○自分たちの班との違いに注目させながら発表を聞かせる。</p> <p>○何を視点にして家具を配置したか気づかせる。</p>   | <p>ブラックボード<br/>家具の模型<br/>発表カード</p> |
| まとめあげる | 10分 | <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>班の発表を参考に自宅の安全のために自分ができること、家庭で生かしていけることを考え、い・すみカードに記入する。</p>  | <p>○家庭の実態に応じて、より安全な住まいにするために様々な方法があることを確認し、可能なことから実践するよう促す。</p> <p>○自分の手でできることに限らず、家族の協力が必要な改善点についても考えるように促す。</p> <p>○い・すみカードの記入後発表をさせる。</p> <p>◎安全な住まい方について考え、工夫改善する点を考えることができたか。</p> <p>(発表・い・すみカード)</p> | <p>い・すみカード</p>                     |

(4) 板書計画

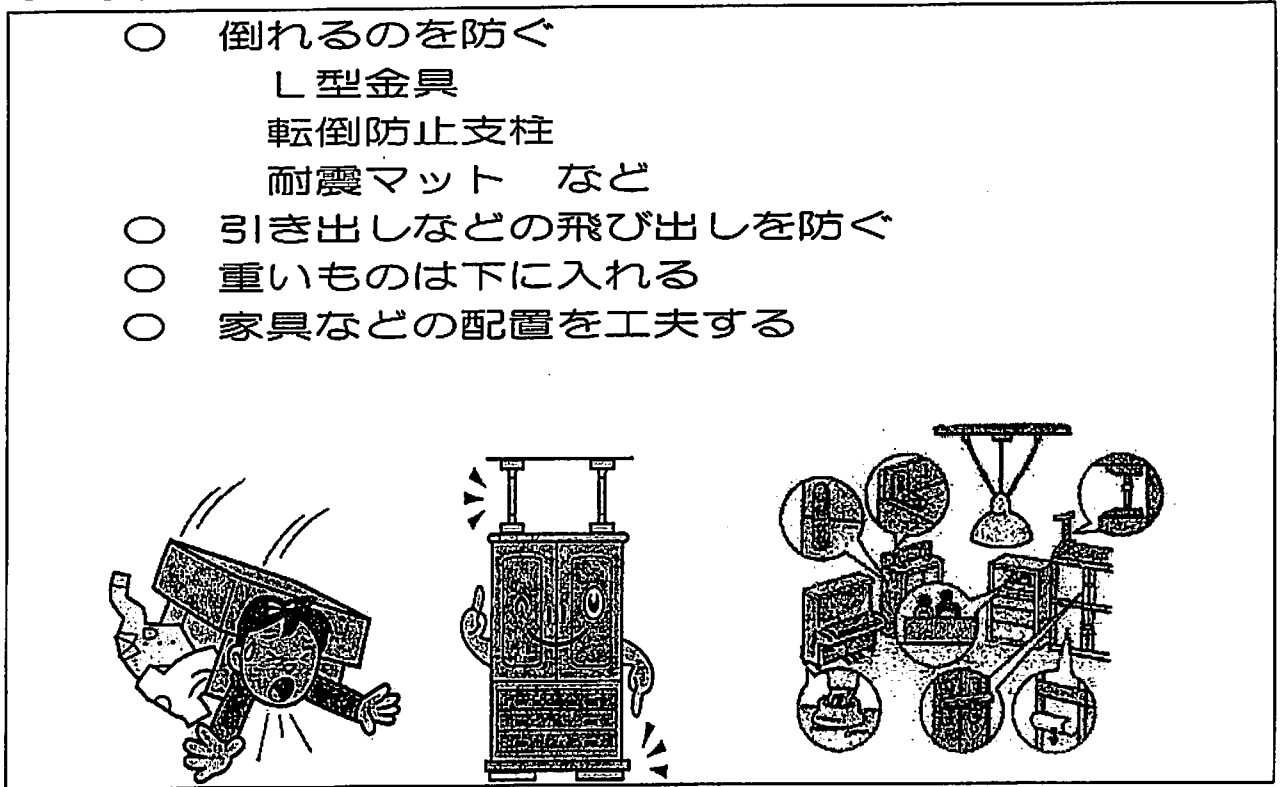
|  |   |                |                |                |                |
|--|---|----------------|----------------|----------------|----------------|
|  | <b>健康 安全 快適</b>                         |                |                |                |                |
| <b>今日の学習の流れ</b><br>_____<br>_____<br>_____<br>_____<br>_____ | <b>学</b> 地震に備え、住まいをより安全にするにはどうしたらよいだろうか |                |                |                |                |
|  | 模型                                      | 模型             | 模型             | 模型             | 模型             |
|  | 発表カード<br>発表カード                          | 発表カード<br>発表カード | 発表カード<br>発表カード | 発表カード<br>発表カード | 発表カード<br>発表カード |

**災害に備え、安全な住まいについて、工夫することを考えよう**

1年 A組 番 氏名

1. 家具による被害を防ぐ対策を知ろう

- 倒れるのを防ぐ  
L型金具  
転倒防止支柱  
耐震マット など
- 引き出しなどの飛び出しを防ぐ
- 重いものは下に入れる
- 家具などの配置を工夫する



2. 災害（地震・集中豪雨・台風・火災など）に備え、自宅の安全のために工夫・改善すべきことを考えよう。

私の家ではテレビなどの下には、おべり止めがついてあるけどタンスや棚には転倒防止支柱などがついていないので、もし地震が起きた時に倒れてきて危ないから、倒れるのを防ぐ道具を利用したり、家具などの配置を少し工夫して災害時に安全に避難できるように本当にちょっとしたことだけどやった方がいーいと思いました。

安全な住まい (2) 非常持ち出し袋

(1) 本時の目標

- ・ 災害に備え、住まいを安全に整える必要性を感じることができる。 (関心・意欲・態度)
- ・ 家族構成などを考えて避難する際に持ち出す必要のあるものを工夫することができる。

(工夫・創造)

(2) 本時の展開

| 過程     | 時配 | 生徒の活動   | 教師の指導と支援   | 資料                   |
|--------|----|---|--|----------------------|
| 課題をつかむ | 3  | 1 前時の学習を振り返り、災害への備えが必要なことを確認する。<br>2 本時の課題を知る。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の家族に必要な、非常持ち出し袋の中身を考えよう。</div>              | ・ 住まいの安全チェックで非常持ち出し袋の用意がされている家庭が少なかったことを想起させる。   |                      |
| 追求する   | 15 | 3 基本的な品物16点を覚え、ワークシートに記入する。<br>・水 ・食料 ・ロープ<br>・ヘッドライト ・新聞紙<br>・救急セット ・簡易トイレ<br>・衣類 ・通帳や印鑑<br>・ラップ ・ビニール袋<br>・現金 ・レインコート<br>・携帯ラジオ ・軍手<br>・ウェットティッシュ | ・ 興味を持たせるために、現物を用意する。  | ワークシート<br>非常持ち出し品の実物 |
| 深める    | 15 | 4 1つ1つの品物について、必要な量や使い道について確認する。   | ・ 「ローリングストック」についても触れ、定期的の中身を確認する機会とすることを知らせる。<br>・ 多様な使い道がある物が便利であることを知らせる。<br>・ ロープを使って人をおぶう方法などは実演して見せる。<br>・ 持ち出す品物以外にも、家庭で避難生活を送る場合に必要なものについても触れる。 | ワークシート<br>非常持ち出し品の実物 |
| まとめる   | 10 | 5 自分の家族の構成や実際に持ち出すことを考えて、追加するとしたら何を加えるかを考える。  | ・ 実際に被災した方の意見なども知らせ、真剣に考えさせる。<br>・ 家族構成を考えて必要なものを考えるように促す。   | ワークシート               |
|        | 5  | 6 本時のまとめをする。課題発見カードを記入する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の家族に必要な、非常持ち出し袋の中身を考えることができたか。</div>                             | ・ 自宅に非常持ち出し品があるか想起させ、記入させる。  | 課題発見カード              |
|        | 2  | 7 次時には衣生活・住生活の課題を決めることを知る。  | ・ 家族にもインタビューして話そうように話す。  | 次時のワークシート            |



# 災害に備え、非常持ち出し品について考えよう


1年 A組 番氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 持ち出し品の名前を書いてみましょう。

| No. | 品名        | 活用のしかたなど             |
|-----|-----------|----------------------|
| 1   | 水         | 洗う・飲む                |
| 2   | 食料        | 食べる                  |
| 3   | ロープ       | 救助・逃げる時              |
| 4   | ヘッドライト    | 電気がつかない時、照らす・助けを求めらる |
| 5   | 新聞紙       | 体温を保つ                |
| 6   | 救急セット     | 応急処置ができる             |
| 7   | 簡易トイレ     | トイレがなかったり、使えないときに使う  |
| 8   | 衣類        | 着がえ・防寒               |
| 9   | 通帳や印鑑     | 身分証明・お金を引き出す         |
| 10  | ラップ       | けがした時、巻く・衛生面         |
| 11  | ビニール袋     | ゴミを入れる・(よごれた物とか)     |
| 12  | 現金        | 何かを買うため              |
| 13  | レインコート    | 雨の時・防水               |
| 14  | 携帯ラジオ     | 情報を手にいれる             |
| 15  | 軍手        | けがを防ぐ                |
| 16  | ウェットティッシュ | 手を洗えない場合             |

## 2. 我が家の場合、これを追加！

- ・タオル
- ・毛布
- ・本
- ・スマホ
- ・電池
- ・充電器
- ・ガムテープ
- ・油性ペン
- ・メモ
- ・薬(アレルガール)
- (筆記用具)



《住生活について》

|   | 内 容                                | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|------------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 家族が互いに気持ちよく生活できるように、部屋の使い方を工夫している。 |   | ✓ |   |   |
| 2 | 住まいの中で、事故やケガがないように気をつけて生活している。     | ✓ |   |   |   |
| 3 | 火災防止や消火の対策をしている。                   | ✓ |   |   |   |
| 4 | 防犯対策として、戸締りを確実にしている。               | ✓ |   |   |   |
| 5 | 安全な住まい方を工夫している。                    | ✓ |   |   |   |
| 6 | 災害時の避難の際に、持ち出せる物の備えができています。        |   | ✓ |   |   |
| 7 | 室内の空気が汚れる原因を知っている。                 | ✓ |   |   |   |
| 8 | 定期的に室内の換気を行っている。                   | ✓ |   |   |   |
| 9 | 自分の家族や外部に音の迷惑をかけないように注意して生活している。   | ✓ |   |   |   |

★ チェック表から、自分の住生活で改善や工夫をしたほうがよいと思うことを書いてみよう。

家族が住みやすいように、心がけているが、リビングの壁に自分の物をたくさん置いてしまっているので、部屋の使い方を工夫したい。

第1回目のチェックと比較してみよう

1は1つ減りましたが、どんどん4が増えてきているので良かったです。

《住生活について》

|   | 内 容                                | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|------------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 家族が互いに気持ちよく生活できるように、部屋の使い方を工夫している。 | ✓ |   |   |   |
| 2 | 住まいの中で、事故やケガがないように気をつけて生活している。     | ✓ |   |   |   |
| 3 | 火災防止や消火の対策をしている。                   | ✓ |   |   |   |
| 4 | 防犯対策として、戸締りを確実にしている。               | ✓ |   |   |   |
| 5 | 安全な住まい方を工夫している。                    | ✓ |   |   |   |
| 6 | 災害時の避難の際に、持ち出せる物の備えができています。        |   | ✓ |   |   |
| 7 | 室内の空気が汚れる原因を知っている。                 | ✓ |   |   |   |
| 8 | 定期的に室内の換気を行っている。                   | ✓ |   |   |   |
| 9 | 自分の家族や外部に音の迷惑をかけないように注意して生活している。   | ✓ |   |   |   |

★ チェック表から、自分の住生活で改善や工夫をしたほうがよいと思うことを書いてみよう。

避難のときの備えがしっかりとできていないので、用意したいです。

第1回目のチェックと比較してみよう

前より少しできてきたので、良かったです。

《住生活について》

|   | 内 容                                | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|------------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 家族が互いに気持ちよく生活できるように、部屋の使い方を工夫している。 | ○ |   |   |   |
| 2 | 住まいの中で、事故やケガがないように気をつけて生活している。     | ○ |   |   |   |
| 3 | 火災防止や消火の対策をしている。                   | ○ |   |   |   |
| 4 | 防犯対策として、戸締りを確実にしている。               | ○ |   |   |   |
| 5 | 安全な住まい方を工夫している。                    | ○ |   |   |   |
| 6 | 災害時の避難の際に、持ち出せる物の備えができています。        |   | ○ |   |   |
| 7 | 室内の空気が汚れる原因を知っている。                 | ○ |   |   |   |
| 8 | 定期的に室内の換気を行っている。                   | ○ |   |   |   |
| 9 | 自分の家族や外部に音の迷惑をかけないように注意して生活している。   | ○ |   |   |   |

★ チェック表から、自分の住生活で改善や工夫をしたほうがよいと思うことを書いてみよう。

災害時用の食料をまだ用意していないので、準備をしたほうがよいと思います。

第1回目のチェックと比較してみよう

4の丸が少し増えてうれしかったです。

《住生活について》

|   | 内 容                                | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|------------------------------------|---|---|---|---|
| 1 | 家族が互いに気持ちよく生活できるように、部屋の使い方を工夫している。 | ✓ |   |   |   |
| 2 | 住まいの中で、事故やケガがないように気をつけて生活している。     | ✓ |   |   |   |
| 3 | 火災防止や消火の対策をしている。                   |   | ✓ |   |   |
| 4 | 防犯対策として、戸締りを確実にしている。               | ✓ |   |   |   |
| 5 | 安全な住まい方を工夫している。                    | ✓ |   |   |   |
| 6 | 災害時の避難の際に、持ち出せる物の備えができています。        |   |   | ✓ |   |
| 7 | 室内の空気が汚れる原因を知っている。                 | ✓ |   |   |   |
| 8 | 定期的に室内の換気を行っている。                   | ✓ |   |   |   |
| 9 | 自分の家族や外部に音の迷惑をかけないように注意して生活している。   | ✓ |   |   |   |

★ チェック表から、自分の住生活で改善や工夫をしたほうがよいと思うことを書いてみよう。

1つ、災害がくるか分からないから、すぐ避難できるように、持ち物を備えようと思います。

第1回目のチェックと比較してみよう

1回目の時より、「4」の数が増えました。住みやすい生活ができるよう、改ぜんしていきたいです。

| 学習項目             | 自分の生活で困っていること、もっと知りたいこと など                   |
|------------------|--|
| 1. 衣生活・住生活のキーワード | 健康・快適・安全について、とくわしく知りたかったです！                  |
| 2. 住まいのさまざまな役割   | 家がないと、とても大変なことがわかりました。もと、住まいの役割について知りたかったです！ |
| 3. 室内の空気調節       | 空気の入れかえをし、かりする！（窓を開ける！）                      |
| 4. 住まいと音         | 防音対策でどのように対策したらいいのかわかりたかったです！                |
| 5. 安全な住まい        | 自分の家は防犯対策があまりできていないので、しっかり防犯対策をしたいです！        |
| 6. 災害への備え        | 物が頭にあたらないようにする！<br>逃げ道をつくる！                  |
| 7. 非常持ち出し品       | 自分の家にならぬものもあつたので、しっかり確認して持ち出す！               |

| 学習項目             | 自分の生活で困っていること、もっと知りたいこと など                   |
|------------------|--|
| 1. 衣生活・住生活のキーワード | どのような工夫をしたか、安全で快適な住生活ができて、よかったことを、と知りたかったです！ |
| 2. 住まいのさまざまな役割   | 住まいには、さまざまな役割があるのだと、思いました。                   |
| 3. 室内の空気調節       | これからは、こまめに換気をしようと思いました。換気すれば、空気がきれいになる。      |
| 4. 住まいと音         | テレビで大きな音を聞く時は、できるだけ窓を（のよう）に思いました。            |
| 5. 安全な住まい        | 机のこたてが、まわって、あつても、いいようにしたいです。                 |
| 6. 災害への備え        | もし地震がおきた時のために、部屋の家具を安全な位置においてみようと思いました。      |
| 7. 非常持ち出し品       | もし津波がきたら、食料や水分を持ち出せるように準備をしようと思いました。         |

| 学習項目             | 自分の生活で困っていること、もっと知りたいこと など   |
|------------------|--|
| 1. 衣生活・住生活のキーワード | まったりぬいぐるみができる方がいいにしたい。キーワードも元々色々な意味があるようにしたいです。                        |
| 2. 住まいのさまざまな役割   | 住まいがなくなると、たまたまかば考えたい事がある、たまたまなくなると、たまたま大変なことになる、と思いました。                |
| 3. 室内の空気調節       | 窓などをほろよくあけた方が、いいなと思いました。   |
| 4. 住まいと音         | 騒音などを出さないようにしたいです。   |
| 5. 安全な住まい        | 色々な危険があるんだなと思いました。色々とかがあつたら、かたです。                                      |
| 6. 災害への備え        | PVDで見たように、ベッドに家具が倒れてきたら、大変なことになる、かも考えたいです。家に災害への備えが、どうしてあるのか、など、思いました。 |
| 7. 非常持ち出し品       | 大事な物が意外とあつたな、と思いました。   |

| 学習項目             | 自分の生活で困っていること、もっと知りたいこと など                    |
|------------------|---|
| 1. 衣生活・住生活のキーワード | 健康・快適・安全の事をよく知りたかったです。                        |
| 2. 住まいのさまざまな役割   | 自分の帰ってくる家がないと、大変な事だと、思いました。                   |
| 3. 室内の空気調節       | 毎日空気の入れかえをしようとする。換気の本質もわかりました。                |
| 4. 住まいと音         | 防音対策をして、まわりの人に、めいめいかけないようにする。                 |
| 5. 安全な住まい        | 住まいの事故は、高齢者や幼児の多い、お風呂やトイレ、マットを活用して、工夫する。      |
| 6. 災害への備え        | 家の中にいるときも、安全を確保することを学びました。少し工夫だけ、いいな、思いました。   |
| 7. 非常持ち出し品       | 災害は、いつくるかわからないので、必ずに持っていける物を用意した方が、いいな、思いました。 |